

令和元年 9月 17日

東京都知事 小池 百合子 殿

## 外濠・日本橋川の水質浄化と 玉川上水・分水網の保全再生について（提言）

法政大学

総長

田中

優子



東京理科大学

学長

松本

洋一郎



中央大学

学長

福原

紀彦



貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私共の大学は江戸城外濠周辺にキャンパスを構えております。そのため、外濠は日常的に接しており、保全再生するための研究を行なってまいりました。とりわけ、腐臭を放つアオコを持続的に抑制するために必要なメカニズムについて、その解明に取り組んでおります。

東京都では現在、緊急的に外濠の浚渫、下水道の一時貯留などの対策に取り組まれております。しかしながら、その効果は一時的、限定的であることが科学的に予見されており、研究者として長期的に持続可能な方策を早急に講ずべきと考えております。

もともと外濠の水は、江戸時代に開削された当初から多摩川の羽村で取水された水を開水路で四谷大木戸まで流し、そこから江戸上水道の一部を流入させることにより維持されてきたものです。羽村から玉川上水・外濠・神田川から隅田川に至る約53kmの水の流れは、位置エネルギーだけで流下する東京の水の大動脈とも言えます※添付資料<sup>1</sup>。この大動脈は、江戸の水道のみならず武蔵野の新田開発、社寺・屋敷の泉水や濠の維持、さらには舟運などにも寄与していた、まさに「水の都・江戸」を支える水資源でもありました。

そして、江戸の中心地として栄えた日本橋川には、外濠のアオコが神田川を經由して流れ込んでいることがわかっています。私たちは、この水の大動脈の復活こそが、東京を持続可能な都市として維持し、日本橋を世界に誇れるエリアにするためにも不可欠と考えております。

以上のことについては、当3大学に東京大学、日本大学を加えた5大学で組織する「水循環都市東京シンポジウム実行委員会」や玉川上水から日本橋までの多くの都民が関わる「玉川上水ネット」、「日本橋水辺再生研究会」等の団体が協働して、これらの河川の再生に関する啓発活動を進めております※添付資料<sup>2</sup>。

また、都議会においても、外濠の水質浄化策に関する質疑が行われたと聞き及んでいます※添付資料<sup>3</sup>。これらの多角的な活動の成果として、東京都では検討会を組織したと聞き及んでいますがその成果については不透明であり、現時点では、明確な方向性が示されていないと理解しております。

既に、令和の新しい時代の幕が開きました。さらに来年は「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。この時代の大きな転換点に当たって「持続可能な都市東京」の水の大動脈の再生に向けて、次の三点についてご高配いただきたく提言いたします。

一、玉川上水・外濠・日本橋川に多摩川からの河川水を導水することにより、水質の浄化、水循環の改善、沿川の防災水利の確保、自然・歴史文化の保全再生等、多面的な役割を果たすグリーンインフラとして位置づけ、東京都の将来構想の施策として取り組んでいただきたい。

二、特に、東京オリンピックマラソンコースの一部でもある「外濠」、再開発が急速に進められている「日本橋川」については、河川水を試験的に通水するなどして、早急に水質改善の方策を講じていただきたい。

三、上記、玉川上水・外濠・日本橋川等の水質改善、維持管理等の検討については、大学、研究機関、さらに市民（団体）の知見を集約するとともに、長期的な視座に立って効率的な運営を実現するための協働体制確立のために、委員会等の設置を提案いたします。

以 上

(事務局)

福井 恒明 (Tsuneaki Fukui)

法政大学 教授 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 景観研究室

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL：03-5228-1446 FAX：03-5228-1446

E-mail：fukui@hosei.ac.jp

山田 正 (Tadashi Yamada)

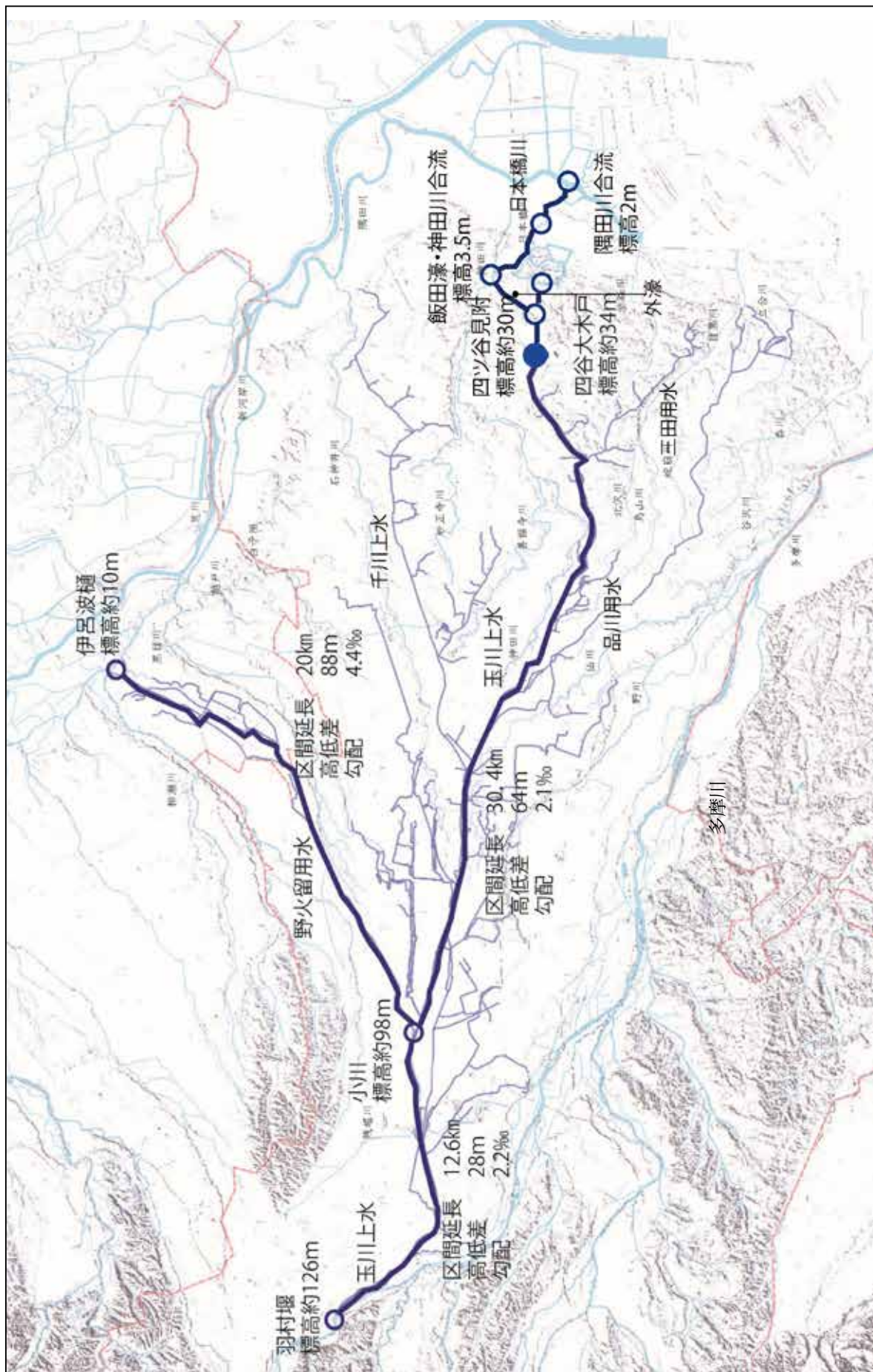
中央大学 教授 理工学部 都市環境学科 河川・水文研究室

〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27

TEL：03-3817-1805 FAX：03-3817-1803

E-mail：yamada@civil.chuo-u.ac.jp

添付資料一1 東京の東西を結ぶ水の大動脈 玉川上水・外濠・日本橋川 (明治中期の玉川上水分水網図に加筆)





## 添付資料－ 2 玉川上水分水網と外濠・日本橋川の保全再生に関する団体

中村英夫・東京都市大学名誉総長声かけの下、日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）主催、建設コンサルタンツ協会の協力により、外濠地元等 4 大学（法政大学・東京理科大学・中央大学・東京都市大学）と連携し、9 回の意見交換会及び講演会を経てシンポジウムを開催。

### 玉川上水・分水網を生かした水循環都市東京連絡会 代表 山田正（中央大学教授）

水循環都市東京シンポジウム実行委員会 総括実行委員長：山田正（中央大学教授）  
実行委員長：陣内 秀信（法政大学教授）  
実行委員長：天野 光一（日本大学教授）  
実行委員長：宇野 求（東京理科大学教授）  
実行委員長：沖 大幹（東京大学生産技術研究所教授）

### 玉川上水・分水網の保全再生連絡会 代表：田畑 貞寿（千葉大学名誉教授）

（武蔵野を中心とした自然歴史文化の保全再生に係る他分野の有識者・市民団体代表の連絡会）  
玉川上水域研究会、公益財団法人とうきゅう環境財団、武蔵野ユネスコ協会、玉川上水を守り育てる、武蔵野市民の会、武蔵野自然塾、玉川上水ネット役員、小平ユネスコ協会、学び舎江戸東京ユネスコクラブ、玉川上水・公園研究会、その他（生態・景観・都市計画・社会学の有識者等）

### 玉川上水ネット（日本ユネスコ協会連盟 未来遺産登録団体） 代表：西村 弘

玉川上水・分水網の保全再生、利活用に係る市民団体のネットワーク（25 団体 4 個人会員約 3000 名）  
玉川上水遊歩道を考える会、玉川上水の自然保護を考える会 みどりのつながり市民会議、玉川上水水・リテラズ、小平井戸の会、小平市玉川上水を守る会、ちむくいの会、小平ユネスコ協会、学び舎江戸東京ユネスコクラブ、武蔵野ユネスコ協会、武蔵野の森を育てる会、玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会、井の頭パークサーチ、三鷹環境市民連（6 団体 17 個人）、久我山緑の散歩道、井の頭の歴史を知る会、NPO 中国健康法普及協会 ミズモリ図、東京ほたる会議、玉川上水・すぎなみの会、渋谷川・水と緑の会、その他（玉川上水・分水網関連遺構 100 選協力・14 団体等）

### 日本橋再生推進協議会「水辺再生研究会」 代表：工藤哲夫（かずさや代表取締役）

日本橋再開発推進協議会の中で、特に、水辺の再生と有効活用について活動  
中央大学、東京都市大学、地元企業、地元団体（名橋「日本橋」保存会、日本橋ルネッサンス 100 年計画委員会）等

### 外濠再生懇談会 代表：陣内 秀信（法政大学特任教授）、宇野 求（東京理科大学教授）

- 教育機関：中央大学（山田正教授）、法政大学（陣内秀信教授）、東京理科大学（宇野求教授）、東京都市大学（川口英俊教授）、日本大学（阿部貴弘教授）、三輪田学園、新宿区四谷図書館
- 地元企業：大日本印刷 ■町内会・自治会等：新宿区及び千代田区の町内会長、自治会長等
- 外濠市民塾（学生主体の地域住民参加型の団体）

#### 関連団体

##### 外濠水辺再生協議会

- 会員企業：鹿島建設、KADOKAWA、サントリーコーポレートビジネス、西武プロパティーズ、大日本印刷、日建設計、日本コンベンションサービス、博報堂、博報堂 DY メディアパートナーズ、前澤工業、前田建設工業、森ビル、ヤフー（五十音順）

#### 玉川上水、外濠、日本橋周辺の企業・団体

- 地元団体：（一社）まちふねみらい塾、国際ロータリークラブ

添付資料－3 近年の玉川上水分水網と外濠・日本橋川の保全再生活動と東京都・都議会の動向

(1)

年号	大学の動向	市民団体等の動向	東京都・都議会の動向	付 記
平成 20 年 (2008)		2月「日本橋再生推進協議会水辺再生研究会」設立 会長：山本泰人／現中央区長		
平成 23 年 (2011)		7月「玉川上水ネット」設立		※玉川上水沿線で個別に活動していたNPOや個人、各団体を結び付ける組織として設立（会員数約3,000人）
平成 25 年 (2013)	4月「外濠再生構想プロジェクト」設立 (2014年迄) 発起人：中村英夫東京都市大学名誉総長 参画大学：法政大学・東京理科大学・中央大学・東京都市大学 事務局：JAPIC			※全6回の意見交換会と全3回講演会を経て、2014年5月シンポジウムを開催（於：私学会館）。
平成 26 年 (2014)	4月「中央大学共同研究プロジェクト」に採択され実施（2016年迄） 参画大学：中央大学・法政大学・東京理科大学・東京都市大学			※研究テーマ「横断的学術連携による水辺再生技術と総合的なランドデザインの融合手法の確立に関する研究～外堀通りを事例として～」
	12月「水循環都市東京シンポジウム実行委員会」設立。 実行委員長：中央大学山田正 参画大学：中央大学・法政大学・東京理科大学・東京都市大学・東京大学（5大学）			※「外濠再生構想プロジェクト」からの発展形として組織。 ※参画5大学をリレーする形で全5回のリレーシンポジウムを開催し、提言「水循環都市東京に関する要望書」をまとめる。
平成 27 年 (2015)		5月「玉川上水・分水網を世界遺産・未来遺産へ」シンポジウム開催。	12月 都知事宛「武蔵野台地に刻まれた水と緑の回廊の保全・再生に関する要望書」提出。	※玉川上水・分水網4団体連名で開催。
	12月「水循環都市東京に関する要望書」提出。 名義：水循環都市東京シンポジウム実行委員会参画5大学代表者連名		12月 都知事宛「水循環都市東京に関する要望書」提出。	※内閣官房水循環政策本部事務局長にも提出。
			2月外濠流域貯留管工事／下水道局（平成32年全線完成予定）。	

年号	大学の動向	市民団体等の動向	東京都・都議会の動向	付 記
平成 28 年 (2016)	1 月「外濠再生懇談会」設立。第 1 回シンポジウム開催。 代表：陣内秀信（法政大学）、宇野求（東京理科大学） 参画大学：法政大学、東京理科大学、中央大学、日本大学			
	10 月「玉川上水・分水網を生かした水循環都市東京連絡会」設立。第 1 回シンポジウム開催（於：東京都議会議事堂「都民ホール」）。 統括実行委員長：山田正（中央大学） 参画大学：5 大学（法政大学、東京理科大学、中央大学、日本大学、東京大学） 参画組織：玉川上水ネット、日本橋水辺再生研究会等		10 月総務局及び関連局へシンポジウムの趣旨説明。	※当連絡会は「水循環都市東京シンポジウム実行委員会」を組織していた 5 大学に玉川上水から日本橋川までの地元 NPO 団体とが一体となり設立。
		12 月「玉川上水ネット（玉川上水分水網保全活用プロジェクト）」プロジェクト 未来遺産 2016 に登録。		
平成 29 年 (2017)	8 月「玉川上水・分水網を生かした水循環都市東京連絡会」第 2 回シンポジウム開催（於：江戸東京博物館）。「試験通水の提案とこれによる影響の検証の必要性、産学官連携でのコンソーシアム立ち上げの必要性」について提言。		9 月 野田数特別秘書、安藤副知事に対して、第 2 回シンポジウムの提言を説明。 第 3 回シンポジウムへの協力を要請	
			9 月「環境・建設委員会」 外濠浚渫に関する質疑（柳ヶ瀬裕文都議／日本維新の会）。	
			10 月 外濠浚渫工事／建設局（平成 31 年完了予定）	
平成 30 年 (2018)			1 月 特別区長会へ提言を説明。第 3 回シンポジウムへの協力を要請。	
		2 月 国土交通大臣杉戸秘書官へ提言を説明。		
			3 月「環境・建設委員会」 アオコ対策に関する質疑（小磯善彦都議／公明党）。 3 月「予算特別委員会」 水循環政策に関する質疑（中山信行／公明党）。	

年号	大学の動向	市民団体等の動向	東京都・都議会の動向	付 記
平成 30 年 (2018)			5月 新宿区・千代田区・中央区・港区の各担当課長へ提言を説明。	
			6月「第2回定例会」外濠浚渫に関する一般質問（上野和彦都議／公明党）。	
			7月 長谷川副知事へ提言説明。 7月「千代田区議会勉強会」で講義（於：千代田区議会）。 講義：山田正（統括実行委員長、中央大学）	
		9月 公明党「水と緑の回廊・国際都市東京の実現プロジェクトチーム」で講義（於：参議院会館）。 講義：山田正（統括実行委員長、中央大学）		
		11月 公明党議員（約12名）で「玉川上水」視察		
	12月「玉川上水・分水網を生かした水循環都市東京連絡会」第3回シンポジウム（於：法政大学）。 関連遺構100選を選定。			
平成 31 年 (2019)			1月 東京都「玉川上水勉強会」開催（於：都庁特別会議室）。 講義：山田正（統括実行委員長、中央大学） 講義：外濠水辺再生協議会 参加：都市整備局・建設局・水道局・下水道局・環境局の課長級職員約17名 窓口：都市整備局都市づくり政策部長尾統括課長代理	
			3月「予算特別委員会」外濠の水質改善について質疑（高倉良生都議／公明党）	
	3月 外濠再生懇談会シンポジウム開催（於：法政大学）。「外濠 vision2036」をとりまとめ。 講演：田中総長（法政大学）、松本学長（東京理科大学）			※総長・学長による知事への提言を予定